

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年12月17日更新

事務事業名		関東合志会運営支援事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	政策部
	施策	14	市民参画によるまちづくりの推進		所属課	まちづくり戦略室
	基本事業	42	地域づくり(まちづくり)活動機会の確保		所属班	秘書広報班
予算科目		会計一般	款 2	項 1	目 1	事業連番 10338
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	合志市出身及び合志市にゆかりのある関東在住の人々が相集い、ふるさと合志市の発展と会員相互の親睦を深めるため、年1回総会及び懇親会が開催されている。また、年2～3回程度の役員会が開催されている。その運営に対する支援を行う。平成3年に関東在住の西合志町出身者・合志町出身者の方がふるさとを思う同郷の方が集まる場が欲しいとの要望からそれぞれの町で開始された。平成18年合併して合志市となり関東合志会として新たに発足した。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	会の運営に対する補助金の交付。また、市長、議長、担当職員等が関東合志会会員が集う年1回(8月)の総会及び懇親会へ参加をし、合志市の近況報告、ふるさと納税のお願い、物産品の紹介などを行い、会員との情報交換を行う。また、希望者へは市の広報紙を毎月、送付している(郵送料は自己負担)
【主な予算費目】	【款】2総務費 【項】1総務管理費 【目】1一般管理費 【節】9旅費 10交際費 19補助金
【意見や要望】	合志市の状況を市長から直接詳細に聞くことができるため、ふるさとを想う気持ちが強まる。また、市側も情報を提供することにより特産物などのPR活動に繋がるいい機会にもなる。継続を望む声強い。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
①手段(主な活動)23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)	24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
総会へ参加をし会員との交流や市発展のための協力依頼を行った。市からは市長他1名が参加をした。補助金額は324,000円。	総会へ市から3名参加し、会員との交流や市発展のための協力依頼を行う。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア 総会など開催回数	回
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
関東合志会会員	→ ア 関東合志会会員数
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
市長と直接会い、市の情報を定期的に得ることにより、遠く離れた故郷への想いを持ち続けることができる。また会員相互の連帯感も生まれる。	→ ア 総会等の会合への参加割合
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠	
総トータルコスト 全体計画 ～ 年度	
0	

(2)各指標・総事業費の推移		単位	21年度実績(決算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	23年度実績(決算)	24年度目標(当初予算)	25年度予定	26年度見込	27年度見込	
①活動指標	ア 回		1	1	1	1	1	1	1	1	
②対象指標	ア 人		214	50	214	97	100	100	100	100	
③成果指標	ア %		50	50	60	52	60	60	60	60	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A)事業費計	一般財源	千円	430	514	458	458	459	459	459	459
		(A)事業費計	千円	430	514	458	458	459	459	459	459
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(B)人件費計	千円	199	41	201	36	82	82	82	82
人件費	正規職員従事人数	人	4	1	2	2	2	2	2	2	
	延べ業務時間	時間	50	10	49	9	20	20	20	20	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	629	555	659	494	541	541	541	541	

事務事業名	関東合志会運営支援事業	所属部	政策部	所属課	まちづくり戦略室
-------	-------------	-----	-----	-----	----------

2 評価の部 (SEE)

*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 会自体の平均年齢が年々増加しており、退会する会員が増えてきたことに加え、新たな会員の加入が少なく会員が減少している。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 合志市出身者を把握し、会への支援（運営費補助をはじめ広報等で周知を行い加入促進を促す）を行うことにより会員の確保・拡充を図る。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他の方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒【理由】 (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最小限度の補助金による支援であるため。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 会員全員が対象である。また、総会参加費や広報発送料は個人の自己負担であり公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>																						